明治四十四年九月廿五日發行
每月一回廿五日發行

婦人新報

第百七十一號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十一號

目次

社說

○平和と秋と

○公娼制度の非認　島田三郎君

○婦人新報四十三年度報告

○過去一年間に於ける動物優待課の活動　武田よし子

○平和に關する講演　スタンホード大學總長ジョルダン博士

○文書課報告　水野菊子

○國民の品性　三輪田元道君

○過去一年間に於ける救濟事業　島田のぶ子

○ニコチン退治　根本德子

○大會管見　城のぶ子

○內外通信

彥根、神戶、靜岡、若松、堺、青年部

社告

◉婦人新報定價（郵稅共）

一部（前金）	金六錢
六部（前金）	金三十五錢
十二部（前金）	金七十錢

（郵劵代用一割增）

◉廣告料

一行（五號活字）	金十錢

明治四十四年九月廿四日印刷
明治四十四年九月廿九日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　橫倉ヒデ
發行所　婦人新報社　東京市小石川區原町廿三番地
編輯及事務所　小石川區原町二十三番地

No. 171　　September, 1911

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

PEACE & AUTUMN.

Fight againt the Public Prostitution............Mr. Shimada.

Report of the Mercy Dept.

Lecture about "Peace" given by Dr. Jordan !

Report of the Temperançe Literature.

Dignity of the Nation..................................Mr. Miwada.

Report of the Rescue Dept.

Fight against Nicotine.

Glimpse of the Convention.

W. C. T. U. News.

Hikoné, Kōbe, Shizuoka, Sakai, Y. Branch.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 23, Haramachi Koishikawa Tokyo,

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十一號

（明治四十四年九月廿五日發行）

社説

平和と秋

柔かい暖かい春の風は人の心をそゝるやうにおもはれますが、涼しい秋に吹く秋の風は身にしみて人の心の落付きを覺えさせます、朧に匂ふ春の月夜にはいづこともなくどよめきを感じますが、冴え渡つた秋の月夜には平穩なしみ〴〵した心持がいたします、書物に親しむの時、靜かに神の前に跪いて、キリストと一つになる時は私共は秋の夜に得るのてあります、平和の中にも、目す事の出來ない肅嚴を覺ゆるのはこの秋てありませう、私共は眠つた平靜を決して望むものては御座いませんが、生命のあるこの平和の秋の日秋の夜之が私共の求めたい處てあります、今は世界至る處に平和と云ふ聲が叫ばれて居ります、國際間に於ける平和を維持する爲には、萬國平和協會と云ふやうな團體が出來て居つて、國と國との親睦を増さん爲めに多くの人々が斡旋せられて居ります、ことに近來日米間に於て時々怖ろしい誤解が起つて、其爲めに、國を愛する人々は色々と、つまらない風聞を解かうと務めて居られます、されば平和の主張者なる米國スタンホード大學總長が、米國を間接代表して、平和の福音を宣傳せん爲めに、遙る〴〵此頃來朝せられて日々二三回づゝ講演をして、日米の親善に務めて居られます、また吾が國からは私共の有力なる補助者たる島田三郎先生が米國にある日米協會の招聘に應じて、日本國民の眞意を彼の國の人々に知らせん爲めに、先月下旬米國に渡航なされました、また其と同時に新渡戸博士も同協會の招聘に兼ね文部省から派遣せられて彼の國の大學に講座を持つべくお出になりました、私共は此兩先生の御渡航を祝して、この大なるミッションを果して歸朝せらるゝまて身神共に御健全であらん事を私共は切に祈るものてあります、さて國際間の平和は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やがて一家の平和一個人の平和を意味する事であらうと思ひます、キリストの天國は即ちこの清い平和でありませう、されは私共は微力ながら一生懸命に働いて居るのもまたこの平和を慕ふからてあります、ジョルダン博士の言葉の通り平和の基礎の一つは吾等が純潔なる生涯を送る爲めに努力する事てあります、努力に供ふ平和こそ、眞に人を益し世を救ふのてあると信じます、世には自ら好んて社會の平和を破り、家庭の平和を毀ち、自らの平和を攪亂する事が多くあります、自分の慾を滿さんが爲めに、或るいは自分の感情を恣ま丶にせんが爲めに、若し私共が眞に神を敬しキリストを愛して、其御足跡に從はんと思ふならば、私共は先づ自我を捨て丶其隣人の平和を計らねばなりますまい、而して生れながらにして罪あるこの自我をして、向上させる爲めに努力せねばなりますまい、互に淸い貴い人生の意味を空しくいたさない樣に務めねばなりますまい、私共は、この靜かなる秋の日にまた夕に跪いて、神よこの罪人を赦して平和の天使たらしめ給へと、切に祈り得る心を養いたいと思ひます、誰か人の慘憺なる不幸を聞いて喜ぶものが世にありませう、また誰れか人の幸福を見て悲しむ者が世にありませう、若しなるとしたならば其人は惡魔の祝福を受けた氣の毒な方てせう、然し吾等も動するとこの氣の毒な人になる事があります、而して相互の平和を亂して自らも不愉快を感ずる事がま丶ありませう、勿論私共は無氣力なものになつてはなりません、善惡兩ながらに對していつも鋭利なくてはなりませんが、其心の調子をして常に公平に整格にして置たいものてす、私共は幾百年の間汚れもせぬ瀦水てなく、常に靜かな鏡の樣な時も活動して居る海の水てなくてはなりません、私共はこの靜かなしかも刺激力のある秋の日にとくに平和と云ふ問題につきて考へるのは決して徒勞のわざとは思ひません。

○公娼制度の非認（下）

島田三郎

丁度又妙義の山に於ても斯樣なものがあつた、妙義の

山は、今日は東京の人の清き遊び場となつて、健全なる青年壯年の者が此處に集つて、日を過し夜を過し、て、又學生が此處に遊んで、山川の妙美奇勝を喜ぶといふのは何の爲てあるかと言へば、妙義の町にして以前の如く此惡む可き所の青年の心を破壞し、道徳を破るものが成立つて居つたならば、決して學生の團體を率ひて、敎師が妙義の山に遊ぶことが出來ぬのである、況や其他の人々も喜んで此山に遊ぶ者は無い、例令ひ遊んでも此町を過ぎつて目を覆はしめて山川の妙美を賞し、奇勝を喜ぶといふ者無く、此山も人間の汚れの爲に、其の奇勝妙美を損減せられたてあらうが、幸に明治十六年の縣會の決議に依り一つは楫取縣令の決斷に依て、山川始めて其奇勝其面目を世の中に現はすに至つたのは、誠に喜ぶ可きことであつて、今日に至つて再び妙義の町に、斯の如き汚れたる制度を興さうといふ論があつても、私は信ずる、恰も伊香保に於ける如く全町擧つて反對するといふことを少しも疑はぬのである、何となれば之が爲に根據ある所の繁昌が妙義の町に增したのでありますから、正しき人の目から見て、道徳を損し、國の結合を損し、人の家庭を破り、女性を侮辱し、日本の奴隷の痕跡を殘す樣なものが、是等の痕跡を拂つて更に妙義の町に、惡制度を興す者の無いといふことは、恰も伊香保に於ける木暮氏の述べた證言の如くであるといふことを少しも疑はぬのである既に日本の一端たる伊香保に證跡歷然たるものであるならば、何故に此眞理が他の地方に適用されぬのであらうか、私は日本全體に於て之を適用すべき時機が最早熟せりと思ひます、他の事跡に依て私は確信して居ります、併し此事たるや、如何に衞生が進み人々用心をしましても、今日流行病を絕つてことが出來ない、如何に敎育が進み、倫理の講習が積んでも、今日色々の種類の罪惡を絕つことは出來ない、併し法律政治の目を以て之を公許すると否認するとの此點が即ち分れ目でありまして、盜賊は世の中に立て之を絕すことが出來ぬから、或る部分には、盜賊を公許して置かうといふ者があつたら、是は狂人の沙汰と言ばな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ければならぬ（拍手喝采）又博奕はどうしても絕つことが出來ぬから、彼の世界中で怪からぬ所のモナコの小國の如く日本に於ても或る部分には博奕を公許して置かうといふ者があつたら、是亦狂人の沙汰と言はなければならぬ、これの有ると無いとは一つの事實てあつて、之を公認するや否認するやといふことは、即ち議論是非の分れる所である、此思想の分れ目が、制度の上に大いなる相違を生ずるのであります。

昔の幕府時代の思想はどうか、只今の社會に無い所の思想が制度に現はれて、公娼制度が現はれたのである、其時には、平等と認められなかつた、殊に男子は婦人を奴隷視して居ても、一向奇怪で無いといふ樣な思想があつた、是れは其時の思想と今日と異なります所以てあります、それからモウ一つは、何であるかと、いふと、德川氏の時代にあれを公許したといふのは、大阪の亂が起り、其の後に關ケ原の亂があつて、德川氏の政權に向つて反對をするものが少なからず民間に起つたのでありますから、これを猜疑の目を以てどうか絕やしたいといふのが德川氏の政治の一の目的であつた、それ故に浪人に對する處置が、今日から見れば過酷非理てあつたといふことは、其痕跡が明白でありましたが、此時代に於て、一般の社會に居られぬ人がどういふ所に身を潛めるかと言へば、普通の制度の行はれぬ遊び場に身を置かねばならぬので、異心を抱いた者の集會所は斯樣な所にあるから、斯の如き地方を限つて是に一種の政治的探偵をする業を申付けてあつた、此事は私の想像に非ずして當時の記錄を見れば明白てある、探偵が入込んで危險な人を押へる便利があつたといふことが明に書いてある、是は德川氏が遊廓に特許を與へて、自家防衞の爲に、他の誤れる思想と共に殘したのが、德川氏時代に彼れが如く成立した一原因てある、今日に於て若し斯樣な怪しからぬ考を持て居つたならば、根底から改めて行かなければならぬ、罪惡の人を取締る制度を以て一般の人を取締るといふことは怪しからぬことゝて、道理て以て之を取締るが當然である、人をして罪惡に陷る可き陷穽を造つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て之を抑へるといふ斯様な怪しからぬ考があつたならば、其根底の思想を否認しなければならぬ(拍手喝采)第一に男子が婦人を奴隷にするといふ蠻習は、社會から消えなければならぬ、又斯様なる所のものを拵へて置いて　さうして是て檢擧の便利を圖る様なことは勿論過去の夢として消失せたのてある、さうすると殘り殘りた所のものは何てあるかと言へば、避病院の如く、あすこに此の如きものを集めて置いて他の方を淸めやうといふ思想と、それから更に衛生の必要より檢査をする便利があるといふ此二ッの理由の外に何も無くなつて仕舞うのてあります　、此二ッの者が、果して道理ある者か否かといふと、前に擧げた所の實例に依て、群馬縣が之が爲に密賣淫が殖へたといふ沙汰を私は聞いたことは無い、良民が困るが爲に此制度を再び興さうといふ沙汰を聞いたことが無い、却て良民は之に反對して居るのてあります、之が爲に傳染病が他の地方よりも群馬縣に殖へたといふ沙汰を聞いたことも無い、却て斯様な者が無い所は、此の汚れに染む所の青年無く、壯年無く、さして病が割合に少いといふのは、過刻此壇に登られた婦人が和歌山縣の事を諸君にお話をしたことに依て明白てある、斯う考へて見たら、玆に言ふ可き理由が無いのてある、併し乍ら玆に多少人を迷はす奇怪なる說があるのは、往々外國を旅行して不正の觀察を携へて日本に歸つた所の人が、日本の人を誤る說を流布することてあります、外國には公娼の制度が無い、それ故に良民と混じて夜分抔は密賣淫が自由に横行して居る、故に公娼を置かなければ、日本にも斯様なる弊害を生ぜしむるから、之を廢止することは出來ぬ、寧ろ彼れの比にしかず我は此古き制度を維持して安堵を保つて居る、是が外國を旅行して來て彼地の事情を知つて居るが如き形跡を以て世の中に吹聽しますから、前に述べた二つの種類の人が、之に應じて然りと、斯様に世の中に吹聽するので、第一は全く其利害を知りつゝ、此利益を直接得んが爲に、斯る邪しまなる心を以て報告して、此制度を維持せんとする惡い種類の人がある、一つは又此の惡い報告を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信じて、成程さうであるかと心からに非ずとも、只識見足らずして迷へる所の者が、此報告を維持せんと欲するのでありますが、私は此の報告は全く誤れりと思ふ（拍手）此報告をする所の人は、如何なる種類の人でありますかと言へば、斯様なる外國に遊んで斯様な事情を知つて世の中に報告する人は、其身既に正しき所の觀察を爲す丈けの權利の無い人である（拍手）其人が外國を旅行して、斯様な巷に好んで立入る所の人であるが故に、眞面目に健全なる事實を記憶して歸るといふよりは、不健全なる所の事實を記憶して歸るので斯様な報告をするのである（拍手）此事は私は確信して疑はぬのであります、試みに其事實を擧げて申して見ますならば、東京程此制度の多い所は無い、只今で全國に知られて居る所の今度火災を被つた地方は重もなものでありますが、品川方面にも同じ様なものが成立つた、洲崎の方面にも同じ様なものが成立つた、板橋にも同じものが成立ち、新宿にも同じものが成立ち殆ど東京の市民は、斯の如きものに依つて包圍されて居るのである（拍手）それて、避病院が斯の如く四面にあつたならば、東京の總ての者が清いのであるかと、また東京の風俗は、公娼を許したが爲に外國に比べて清淨であるか否やといふと、私が如何に日本を贔負にし日本を愛する所の者であつたにした所が、我國の男女の關係が、英國蘇格蘭土の如く嚴肅であるといふことを言ふ丈けの勇氣を持ぬのであります、（拍手喝采）我國の人が外國に遊んで、壯年の婦人が家の主人となつて居る者の一室を借受けて、清く其世の中を渡つて來る人が多數である、斯の如き人を擧げて見ましたら、皆然りと答へるのである、苟も我にして志正しく、彼れにして志正しき者ならば、若き女主人の家を借りることも求めて難いことは無い甚だ得易いのである、併し乍ら我が日本に於ては、地方から東京に入込む所の若き婦人が、安全な下宿屋を求めることは困難であるといふことは、諸君が實驗せられるであらう、尙ほ若き女主人の家を學生が借りて居つて、同じく安全であるといふことを世の中の人が信ず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るや否や、私は信じない人の方が多いと思ふ、然らば此點に於て四方を圍んで居る所の東京、新宿にもあり洲崎にもあり、品川にもあり、板橋にもあり、今回燒けた方面にもあつて、四面斯の如き制度に圍まれて居つて、他を淸める所の力があると信ずる所の此言葉は全く虛僞の言葉にして、此事は嘗て他の方面を淸めるに非ずして、一般萬衆の思想を汚して、人をして純潔なる交りを衰微せしむる所の惡制度であるといはしむることは、斷言して憚らぬのであります（拍手喝采）此を以つて見たならば、總ての口實は皆破れて居るので、之を否認して已むを得ず下水の地下に流るゝ如くにしやうといふのは、我々の實地問題として論ずるので、決して空言空想に非ずして、實地切實なる論題であると思ふ、一度び此思想の誤がありますれば、其結果は、過日お話をました通り、此業を正しきものと信ずるのであります、此業に公の費用を配當して租稅を拂ふ所の權利が、此の怪しからぬ所の惡き種類、良民と肩を並べることが出來ない人が、公然と人の代理者となつて、或は地方の議員となり、國家の代議士となりて現はれるに至つて、日本帝國の面目何くに在るか、之を公認すると否認するとの結果に依て斯の如き結果を生ずるのでありますから、日本帝國は斷然之を否認しなければならぬ、密にやる者があるのは、警察の手が屆かぬのであるから、丁度暗室に博奕が行はれるのは、仕方が無いから之を打捨て置いて一つ一つ攻めて之を減じて無くならしむる樣にするのが、一つの改革であるといふことを私は確信するのである（拍手）私の論じたのは、是は空想に非ず、正しき所の眞面目な證據を擧げやうと思ふ、それは淺草公報といふ出版物であります、毎日の新聞では無い、定期刊行物であります、其第八十四號に斯樣な事が書いてある、是は三月十五日の發行に掛るものでありますが「新協會の人物」といふ題で斯ういふことがある、其題を讀んで、此事實をお考になりましたらば、如何に全國の標準となる東京が、人間界に齒す可らざる所の者に依て、東京の市民の一部を代表されて居るかといふことを、

諸君は憤然として怒らざるを得まいと思ふ、新區會の人物、其職業と年齢とあつて、其前書が大に注意す可き所の文章である、新に成立したる「淺草區會は區内に於ける各種の階級を網羅し、別けて光彩を發揮したる觀がある、今四十五名の議員諸氏の職業年齢を擧れば左の如し」とある、今年選ばれた區會の人物の職業年齢、總ての階級を網羅して別けて光彩を放てるのは、實に驚いた光彩であると私は思ふ、是は昔で言へば、狐火の光彩で、人間の光彩で無い此中にどういふことが書いてあるかと言へば、色々の職業が分けてあります、白米商もあり辯護士もあり、菓子屋があり、紙屋もあり質屋もある、其中に杉浦庄三郎貸座敷營業年齢四十五年、一級選擧の中にある、それから今度はどういふ人があるかと言へば、齋藤春次郎貸座敷營業年齢四十八年、是が各種の營業を網羅して居る中に這入つて居つて、而も一級と言へば、其土地に於て、財産上の信用あり勢力ある人と認めなければ、一級の代表人として出て來られぬのであります、其人は如何なる人かと言へば、婦人の節操を蹂躙し人の身體を賣買する所の營業で、斯の如く人倫を蹂躙し、公の面目を蹂躙して、人類を人の脚下に蹂み躙る所の者か代表者として選ばれて、而も各階級を網羅する所に擧げられ此筆を執る人も斯の如く書いて怪しまぬ程、統計を正しく示して居るのは何の爲かと言へば、即ち彼の結果であります、此公娼を許といふ惡慣習があるが故に東京の人は怪しまぬのである、此度の火災は天の賜として、恰も明治十六年に群馬縣會が、縣令を刺戟して英斷を爲さしめて、榛名の名蹟を淸め、伊香保の良き所の地を淸め、更に島村の名産地を淸めて繁榮を致し、而も淸淨健全なる繁昌を爲した如く、帝國の首府たる東京が奮つて此の良き例を示しましたならば、引いて全國の風紀を一新するであらう、若も左も無くして、斯の如き新聞を傳へて、各種の階級を網羅して光彩を放つて居るといふ出版物を流布せられたならば、東京市民の面目果して如何である、私は世の中に顔向けが出來ぬては無いかといふことを、慨歎するが故に、此

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前にも此のお話をし、數日を經て此の壇上て同じ事を繰返して、此の大勢のお方にお目に掛るのは、論旨に於て新たなることを得ずして、己の所信を諸君に明言するといふ只此一點の自信から、諸君のお聽を煩はしましたのてあります。(拍手大喝采)

婦人新報々告(四十三年七月ヨリ四十四年六月迄)

一ヶ月發行部數　一千三百五十部

　實捌部數　一千百部

　交換及び進呈部數　二百部

　殘　五十部

婦人新報收入金高　五百八拾八圓廿六錢

　内譯

　金百三十圓　本部補助金

　金貳拾五圓　購讀者寄附金

　金四百三十三圓廿六錢　賣上高

支出金六百八拾五圓卅貳錢

　内譯

　金四百十圓五十三錢　印刷代(平均卅四圓強)

　金百二十圓　編輯手當

　金百二圓四十九錢　郵税

　金三圓六十錢　新聞代

　金五圓　通信代

　金四圓九十錢　包紙糊代

　金參圓五十錢　集金人手當

　金壹圓五十錢　雜費

　金廿九圓八十錢　前年度不足

不足金額九拾貳圓拾六錢

○動物優待課報告

武田淑子

本課は未だ微々たるものにして詳細なる報告を得しものは僅かに一二に過ぎざれども、少年禁酒軍に於て其設けあるもの十ヶ所にして青年部に於ても二三ヶ所に設けあり。而してミス、デビスの如きは內務省に牛馬の荷物の量を減ぜん事を請求せられたりと、猶又同志社普通校倫理科受持教師に特に依頼したれば屢本課を教授せられ大に生徒の新知識を開發し諸子は今更の如く悟る所少なからざりと云ふ。報告を得しもの如左。

▲四十三年度神戸支部動物優待課報告

支部名稱　神戸基督教婦人矯風會と稱す
位置　神戸市山本通五丁目卅八番屋敷に假事務所を置く
課長　川本操子　神戸市下山手通八丁目百六〇

安息日學校教師には常に贊成を求めつゝあり本課長は何等秩序立ちたる活動をなし得ざれども會員相圖り夏季牛馬の爲めに水槽を設くる事市內に七八ヶ所多大の感化を牛馬飼養者に與へつゝあるものゝ如し。

同　報告　少年部長　守屋東

少年禁酒軍は動物優待課に最も重きを置くものなり、少年少女に禁酒主義を鼓吹する事の大切なるは勿論なれども幼きやさしき彼等の腦裏に動物を愛護するといふうるはしき性情を養ひゆかしむる事はつまり同情深く愛心に滿てる人物を養成するものなれば少年禁酒軍の各軍はいづれも皆此課を設けざる迄も此主義を熱心に鼓吹しつゝあり。

▲設けある軍の名

一ノ渕少年禁酒軍　麻布少年禁酒軍
四ノ橋禁酒軍　宮村少年禁酒軍
簞笥町少年禁酒軍　一ノ橋少年禁酒軍
十番少年禁酒軍　谷町少年禁酒軍
弘前少年禁酒軍　鹿兒島少年禁酒軍
番町少年禁酒軍　の十ヶ所なり

○少年新報に動物優待の小話を綴りて毎月掲載す。

○動物優待の讀物或は歌を屬軍より請求されるも特に此課の爲めに作られしものなき爲め送る事を得ず殘念に思ふものなり、願くば四十四年度に於ては此讀物或は歌を作成されん事を願ふ所なり。

○平和に關する講演

スタンホード大學總長ジョルダン博士

△現代の三特質

右は現代學生の爲めに注意せしものなり

▲巨萬の軍資　前回余が十數年前日本に來遊せし折東北の一市長は現今の日本は田舍に生育した子兒が始めて都會に出て觀る物聞く物悉く珍敷目を圓くして驚いて居る樣なものであると物語つたとがあつたが此大勢は益增大して今や日本の諸港に出入する船舶は日に月に增加し世界が日に日に縮小して遂に一家族の如き性質を帶び來つたとは近時の著るしい現象である。

所で余は現今の世界が三つの特質を有つて居ると思ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其一つは奮闘的なるとて目下世界には仕事の種類も數も非常に夥多に爲つて來て愚圖々々して居ては間に合はぬとなつた、即ち世界は各個人に向つて出來る丈の仕事を爲よと云ふとを要求して已まない、次には世界が複雜に爲つたとてある、單に自國語のみては用が足りなくなつて數ヶ國語を研究せねば追付ぬやうになつた又家庭の關係抔も徐々込入つて來て父母の言と雖も唯ハイ／＼と畏まつて許りは居られぬ樣になつた、且第三には世界は極めて個人的になつて先祖或は人種の如何を論ぜず唯現在の其人にのみ重きを置いて問題は何が出來るかと云ふ一點に歸着した。

▲純潔なる生活　社會が斯の如くてあるから從つて教育の方針も其に適應して多くの仕事を容易に爲し得る人物を養成せんと努むるに至つた、實に現今の世の中は爲すとあらんとする者に取つては、最も有望な時代て此間に成功せんと欲する者は熱心と元氣とを以て勇往邁進す可きてある而して諸君の記憶す可きは諸々の善德が成功に缺く可らざる要素て就中眞面目なる心が最も必要てあると云ふとてある、眞面目なる心は正確なる腦髓を有て居るから出來るので一度腦を損はゞ誤つたとを言ふ樣になる酒やビールが學生に良しからぬと言ふのは此等を飮用すれば健全な組織秩序が狂つて好からざる可き時に好かつたり惡からざる可き時に惡かつたりするからてある、即ち諸君は純潔なる生活を爲して腦髓を冒されぬ樣に注意し覺たる心を以て將來の爲に勉勵せねばならぬ。

▲後代への遺物　午後は二時より神田美土代町青年會にて平澤均治氏の司會、綱島牧師の祈禱、佐々木梅治氏の通譯て「純潔の勢力」と題して大略上述同樣の講演を試みられたが、博士の令名は如何に學生等の心を動かしけむ、幾多の學生麕至して、開會前早くも立錐の餘地なき程てあつた、やがて博士が厖大なる體軀溫乎たる風貌が壇の上に現れると一齊に急霰の如き拍手を以て迎へる、博士悠揚として語つて曰く「文明は忠實に仕事をする人を求む、小事に忠なる人は能く大事を成すべし、然も此大事を成し眞正なる道を作る爲

に必要なるは腦なり而して此貴重なる腦を最も正しく保たんと欲せば心身の純潔を嚴守せざるべからず、諸君は何物を以て諸君の次代に遺さんとはする、知らず亡滅の生涯か、將た勝利の生涯か、戰爭の慘禍は今改めて之を說くを要せじ、日本士官の著述なる「肉彈」の一篇に徵するも明かなり、戰爭は獨り悲慘を極むるのみならず又最も不廉なるものにして歐洲は之が爲めに現に每年軍備費として百億を費し既に戰爭の爲めに負へる債務五百二十億に及ぶ、然も此巨額の負債は眼に見えぬ帝國に住む眼に見えぬ人民の爲めに支配せらる、予は曾て巴里に於て一農民の肩に完全なる武裝をなせる兵士の跨れる戯畫を見たりしが更に此兵士の上に十七人の公債を手に握れる人を乘せなば一層妙ならむ、十七人とは他なし現代歐洲の金權を掌握せるロスチャイルド氏其他の債權者なり。

▲更に大なる犧牲　米國の如き平和國に於てすら軍備の爲に費す所徵稅年額の約七割に達す、桑港の住民が太平洋沿岸防備の爲にする納稅額は一人平均一年二十圓に相當す、然も今日の戰爭法たる往時と異り種々の科學的發明を利用して極めて大仕掛なるが故に一發の砲彈に約六千圓を要するの有樣なり、而して戰爭の不廉なるは獨り經濟上のみに止まらず、他に更に大なる犧牲は國民中の健全有爲なる優良分子を失ふにあり、希臘の衰へ羅馬の亡びたるは其原因全く玆に存す、三十年戰爭の爲めには二千二百萬の人口が八百萬に減じ奈翁戰爭の爲めには全歐洲の壯丁三百卄萬を失ひたり、後に殘るは自から劣等なる惡質者ならざるを得ず是れ豈軍費以上の犧牲にあらずや。

▲平和に達する途　然らば則ち平和に達する手段方法如何、予は玆に三箇條を指示せんと欲す、一は戰爭自身の精密なる調査なり、二は平和に關する確實なる輿論を作るに在り、三は戰爭を根本的に廢絕する方法として仲裁裁判制度の確立を圖るにあり、戰爭自身の調査精密に行はれて如何に戰爭に依りて經濟上の利益を得んとする者が陰に陽に之を操つるかを知りて平和の輿論確立し仲裁裁判の基礎確乎たるに至らば今より十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又百年の後には今日の軍艦大砲の如きは一種の參考品として博物館に陳列せらるゝに止まらんと、

〇明治四十三年度本部文書課報告

希望に滿てる大會席上謹んで過ぐる一年間の微々たる働を報告するの榮を得たるを喜ぶといひどもかへりみて何の爲す所も無かりし我月日をへば實に慚愧の念に堪へざる次第なり。

麻布區鳥居坂東洋英和女學校內　水野きく子

四十三年十月初旬東京信州、金澤、山梨地方の宣教師諸氏に書を贈りて矯風書類の採用を依賴し多少の功果を見たり。越へて本年二月下旬守屋少年部長の御助言を得てリーフレット「白酒の害」五百部を配布せり桃花咲きさそふ雛の日麻布近邊の少女等にして白酒を口にせざりし者數十名ありしと聞き及びぬ。六月九日花の日赤阪病院、赤十字及び慈惠院を訪問して各患者にツラクト二部づゝを分布せり。

本年配布せし書類左の如し。

「白酒の害」「暗黑鐵道時間表」「思ひわづらふ勿れ」「日曜日の山遊」「幼稚時代の敎育」「淸潔」「結核病咽喉病の病源と其豫防法」右配布部數千七百七十部

賣却せし書冊は、

「禁酒演說集」「日曜日の山遊」「幼稚時代の敎育」「酒禍の實驗」「酒害新說」「飮酒被害者大行列」等、賣上金二圓二十三錢

本年度收入小崎會計より五圓、書類賣上金二圓二十三錢、

支出　金五圓。

尙本年度外國婦人矯風會文書課出版物左の如し、

少年禁酒軍規則
少年及靑年に及ぼす喫煙の結果
暗黑鐵道時間表
思ひ煩ふ勿れ
以上再版
結核病咽喉病及凡て肺に關する病源の概略と其豫防法
以上新刊

▲文書課報告

少年禁酒軍　守屋東

〇少年新報欄は毎月一二の小話を揭載して其責をふさぐ、

〇少年禁酒軍人を勸誘する目的を以て赤リボンと題して一小文を草す、

一部五厘　百部四十錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○國民の品性

三輪田元道君

△戰捷國の名譽を如何にすべき

後から島田先生の充分なる御話があらうと存じますから私は出來るだけ簡單に御話致したいと思ひます。唯今外國の御婦人から日本は戰爭に於て勝つたから十分なる名譽を得たと云ふ御言葉がございました、私は日本國民なるが故に外國の御婦人より戰爭に勝つたと云ふ御言葉を頂きまして甚だ愉快に感じます、諸君も恐らくは御同感であらうと思ひます。併し戰爭に依つて確かに日本は一等國となつたのでありますけれども、今日此頃戰爭に勝つた爲め父を失うて泣いて居る子供も幾らもあらうと思ひます。又戰爭の結果として今般自分の子が亡なつて明日の生活をどうしやうかと思つて心配して居るものも確かにあらうと思ひます。要するに戰爭は血潮を流したのであります。戰爭は罪惡であつたけれども已むを得ずして戰かうたのであります。而して斯の如き罪惡を行ひ、斯の如く又同胞の血を流してさうして贏ち得たものは何であるかと申したならば戰捷國であると云ふ僅かの言葉であります。併し確かに名譽であります。吾々は此戰爭がなかつたならば恐らくは世界の一等國になれなかつたでありませうけれども、此戰爭に依つて得ました其名譽は我日本としての價値、國民としての價値は確かに人生の半面であらうと思ひます。

△内外兩部の生活をして健全ならしめよ

即ち要するに戰爭と云ふものは、人間としては即ち外部的のものである、アウターのものである、人間の外部と云ふものも確に必要であるけれども其外に人間は内部と云ふものインナーと云ふものがある、内部生活（インナーライフ）と云ふものが他の半面であらうと思ひます、我々は戰爭に於て一等國となつたが、併し内面的生活に於て果して一等國であらうか、我々國民

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

として國民の口より斯の如き事を申すのは不愉快てありますけれども我々は忍んで尚ほ云はなければならぬ事實がある、先づインナーライフと云へば何を云ふか多くは宗教の如き文學の如き趣味の生活てあらうと思ひます。今日の宗教に於て見ますと確かに日本のお寺は傾いて居るのてあります、寺の坊主は位牌を賣つたり佛像を賣つたりして居ります、日本は宗教の上に於て確かに活躍して居るとは言へぬのてあります、それならば基督教はどうかと申しましたならば私は基督教信者てはありませぬが折々は矢張り基督教のする事が大變同感てあつて屢々會堂に行く事もあるのてあります、けれども甚だ寥々たる淋しい會堂てあります、さらば基督教に於ても、……宗教上に於ても日本人は精神生活をして居ると云ふ事は云へないと思ひます。然らば文學はどうか、此頃文藝院と云ふものが出來た文學の盛んな結果てありませう、が私は決してさうてはないと思ふ、文學の最も衰頽した墮落した結果之を救濟せんが爲に置くのてありませう。文藝院を置くと云ふ事は要するに文學の墮落てある、文學の爲めに悲しむべき救濟策として置くのてある、當局者が此處に注意を注ぐやうになつたのは私は甚だ喜びますけれども、之を以て若し後世の歴史家が歴史を書くに當つて明治四十四年に文藝院を置かれたからして日本に文學の全盛てあつたと書いたならばそれは平凡なる歴史家てあります。賢明なる歴史家は其裡面を見て文學の墮落を慨くてありませう。又道德に於てはどうか、今日は小學教育より中學に至るまで皆んな修身教科書がありますけれども、識者は今日の倫理教育を疑つて居るのてあります。斯の如き智的教育て果して國民が作れやうかと云ふ事は識者の疑問として居る所てあります。諸君無論御經驗てありませう、中學時代ていろんな倫理の教科書に依つて教授を受けられたてありませうが、アレて人間が作られやうかどうか疑問てあります。又近來いろ／＼忠孝の説を説いて居る、寔に結構な道德と信ずる、けれども其聲だけては其實績は擧らぬと思ひます。或る人の中には忠孝と云ふやうな事は

烏でも雀でも云と云ひますが成程さうであります、烏はカウ〳〵、雀はチユー〳〵と啼いて居るけれども其聲に依て忠孝の實が擧つたとは云へないのであります。それと同様に忠孝を百萬遍唱へても立派な人間が作られなければ教育上倫理の上に於て成功したとは云へない、今日の倫理教授は確かに疑問中の一つであります、要するに我々の精神生活に於ては宗教にしろ文學にしろ又倫理道德にしろ皆な我々に滿足を與へない現今の時代であります。併ながら私共は敢て悲観はしない、確かに進歩しつゝあると申します、何となれば倫理に於ても我々が工夫するのである、心配するのである、故に將來望みがあるのである、宗教に於てもさうである、寺の坊さんは或坊さんは確かに佛像を賣つたかも知れませぬ、賣つたが爲めに非常に後悔して居る坊さんもあるのであります。寺が淋しいばかりではない、會堂が淋しいか知らぬけれども、說教を止めずに日夜努めて居る人があります、故に絶望するには及ばない前途有望であります。併ながら斯の如き倫理なり、宗教なり或は道德の上に於て我々が不滿足と云ふよりも此處に具體的の目に見えた最も掃除すべき不潔なる場所が日本の至る處に存立して居るのであります、說明を要せずして分る、是は遊廓であります。

△遊廓制度は大なる國辱なり

て私は此遊廓なるものは何をする處であるかと云ふ事を申しましたならば、諸君はそんな說明をしなくても宜いと思はれるけれども、假りに此遊廓の要素を分拆すると、確かに人間の劣等の情慾を滿足する場所になつて居ります。先程も島地君が云はれた樣に人間の情慾、性慾と云ふものは之を高尚に修養したならば、否な高尚に養成したならば決して墮落ではない、罪惡ではない、それはトルストイの如きも確かに認めて居る、ショッペンハワーも認めて居る、恐らくは孔子も認めて居るでありませう、けれども吉原と云ふやうな處に於ける人間の性慾の滿足と云ふものは何を意味するかと云ふに性慾それ自身が目的ではない、ショルペンハ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ワーの云つたやうに性慾と云ふ事は我々の種族を殖やすと云ふ事である、同胞人類の種族を殖やすと云ふ神聖な目的に於て生殖すべきである。此處に於て下等動物の如きは自分は斯の如き力を持たないから生物學者に依つて段々種族の改良を行はれて居る、即ち馬匹改良の如きは、自ら彼等が馬種の改良をする事が出來ないから、人に依つてされて居る、又他の動物、植物等にない事實は結婚と云ふ制度である、此結婚制度と云ふ事は他の動物にはない、此結婚制度と云ふ事は即ち我々が性慾を道德的に滿足すべきところであります。貝原益軒などは日本の儒者の中で嚴格な儒者であるが神聖な性慾は結構なものであると認めて居る、何も性慾を直ちに罪惡とは云へない、性慾は結婚と云ふ制度に於て始めて滿足すべきものである。處が吉原の如き遊廓は我々同胞を殖す處の性慾の滿足する處であるかどうかさうではない、若し吉原の遊女にして姙娠でもしたら、大騷ぎである、樓主も騷げば本人も騷ぐ之に依りても斯の如き遊廓は動物的慾情を滿足する、言を換へれば神聖なる人間の性慾を弄ぶ處のものである、眞に神が存在して居つたならば、確かに斯の如きものは最も罰すべきもの丶一つ、否な最も憫むべきもの丶一つであると必ず仰しやるに違ひありませぬ、何となれば我々の最も神聖に最も愼むべきものを之を弄ぶ、之に依つて戯れると云ふ事は實に劣等な動物と同じ遣方をするのであります一言に云へば即ち情慾の滿足、濫りなる情慾の滿足と云ふものは動物的行動をすると云つて宜いのであります。それと同時に我々は人格を尊敬すると云ふ事は他に對する道德の一つである、處が吉原の如き制度が置かれると云ふと女と云ふものは賣物である如きものである、現に賣買すると云つて居る、又實際買へるのである、寔に尊い人類が僅かなる金錢で計算されると云ふ事は實に言語同斷な事である斯の如き事が文明の今日の世の中に於てあり得られると云ふ事は、戰爭をして世界の一等國となつたと云ふ其國民の爲すべき事でありませうか、國民が戰爭に於て勝つたと云ふ事は單に力が強かつたと云ふ事であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る、先づ世界の動物で力の強いのは象の如き或は豹の如き熊の如き餘程強いのがあります、併し強いのばかりが偉いのでない、強い外に偉い處がなければならぬ、我々人類同胞は戰爭に於て強かつたけれども精神生活に於て即ちインナーライフの上に於て貴くなければならぬ、然るに戰爭に於て勝つた一面には確かに劣等な斯の如き性慾の滿足をして居るのは、先程申しました今晩あたり親が無くなつて泣いて居る子や、子が居なくて泣いて居る爺さん達が聞いたならば何と思ふてありませう、日本は戰爭で勝つて名譽を得たにも拘らず我々同胞に斯の如き不正なる行をするものがある爲めに終に名譽の半分を毀損して仕舞ふ、否な外國人等の目から見れば定めて不潔なる定めて、不道徳なる國と云はれるに違ひありませぬ、斯の如き一面には戰爭の名譽を得ながら一面には遊廓制度のある爲めに國民の品位を傷けると云ふ事は非常なものであります。然るに我々が忍で宜いものでありませうか、我々は宜しく互に研究して、互に勇氣を添へてさうして斯の如き人道問題の爲めに活躍するのが我々の本分であらうと思ひます。

○過去一年に於ける救濟事業

島田のぶ子

慈愛館會計報告

自明治四十三年七月至同四十四年六月

收入

金六百八十七圓四十六錢五厘也　前年度より越高

金貳百五拾八圓四十壹錢也　明治四十三年七月より同四十四年六月迄

內譯

金廿圓　小林富二郎氏より寄附

金貳百百圓　四十三年十一月有樂座にて催したる演劇會純益分配額

金拾圓　小林富二郎氏紀念寄附

金壹圓卅錢　贊助金

金廿七圓二十壹錢　四十三年七月より四十四年六月に至る銀行利子

支出

金四百卅四圓〇參錢

內譯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金四百廿九圓〇參錢　四十三年七月より四十四年六月迄慈愛舘經費河原渡邊兩姉へ渡し
金貳圓　小林富二郎氏寄附の花輪
金壹圓五十錢　渡瀨氏火事見物
金壹圓五十錢　故小林富二郎氏肖像額縁代
差引殘金五百十一圓八十四錢五厘也

△水害慰問概況並報告

昨年八月殆んど全國に渉る大洪水あり其當時の有樣は諸新聞紙の報ぜし如く東京市内各區特に本所深川及び東京附近も非常の慘狀にて茲に矯風會員諸姉は他の團體に率先し協力一致其活動も亦目覺しきものにて殊に婦人の力による事なれば時には工兵隊の力を借り又は基督教青年會と協力し神田美土代町青年會館内に事務所を設け同夜其の救濟の方法慰問袋の分配整理等に盡力せられたるも其詳細は昨年九月婦人新報第百五十九號「東京市内婦人矯風會の大活動」と題し報ぜられたれば今は之を略し茲には其慰問品の其數の上に如何なる方面に渉り分配せられたるかを統計により報告するに止む。

一配布せし慰問品
慰問袋　約五千個
古着大小　千參百九點
晒木綿　二十三反
風呂敷包（夜具等）四十五個

一慰問袋を配付せし箇所
東京市内十二ヶ所栃木縣數所ヶ埼玉縣數ヶ所千葉縣一ヶ所群馬縣數ヶ所宮城縣等

總收入
金貳百十五圓五十壹錢
總支出
金百五十八圓八十五錢　晒木綿パン用品等慰問袋に入るゝ品を購求並に日物品運搬費
殘金額
金五十七圓六十六錢
金品を寄附せられし人員は約五百名なり

水害慰問第二回
收　入
金壹圓九十錢　吳支部番町教會日曜學校生徒川崎日曜學校生徒寄附

慰問品を配付せし箇所及物品

宮城縣地方罹災民に仙臺市クリスチヤン教會牧師北野氏を通じて送る

大行李　一個　横濱會員出品
大莚包　一個　呉支部出品
大　箱　二個　日向クラブ氏取次

差引殘金額　金五十九圓五十六錢也（仙台地方へ寄附）

此に一事の附記すべきものは吉原遊廓の火災を機として公娼廢止の運動を開始し之が動機となりて廓清會の發起となりたる事にして吉原の火災あるや我矯風會役員は内務省警視廳の當局に陳情し又市内各所に演說會を開き基督教内の同志は勿論其以外の教育家宗教家等に對して贊同を求め新聞記者を招きて我運動の方針を告ぐる事種々力を盡したるが數百年の因襲一時に根抵を覆す能はずと雖も府會を醒覺して公娼の背理なるを淫風の毒害大なることを世に覺らしむるの一大勢力を現したり又我運動を助けて活動せられたる諸氏の中深く感ずる所ありて公娼廢止其之に類する弊害を矯正釐革する目的を以て一會を起し其實際を調査し矯風正俗の永續的活動を爲さんとするに決して此に廓清會の組織成り本月八日を以て其發會式を擧行したり。

△四十二年度救濟課報告

會の名稱　大坂婦人ホーム
所在地　大坂北區中之島六丁目六番地
一課長住所姓名　仝區仝所仝番地　林　依
一金九百九拾四圓四十五錢五厘　收　入

内　譯

一六百六圓五十二錢五厘　寄宿料
一二百十二圓八十五錢　雇主寄附
一百七十四圓十三錢　滯在人食料
一九十五錢　雜收入

一金千五百〇六圓八十三錢五厘　支　出

内　譯

一八百廿九圓七錢五厘　食費
一二百四十八圓五十二錢　事務費
一三十圓十八錢　救助費
一百九十三圓五十錢　職員三名給料
一四十六圓四十二錢五厘　稅金
一九十二圓二十四錢五厘　修繕費
一二十壹圓　火災保險懸金
一四十五圓八十九錢　雜費

不足　五百十二圓三十八錢也
右不足　大坂婦人矯風會より補助

四十三年度實行せし本課事業
賴り來り者三百八十九名

内　譯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奉公に入りし者	二百八名		
手數かゝりし者	百九十四名		
警察へ渡されし者	五名		
車夫の連來し者	七名		
旅費を與へ歸せし者	四名		
入院中	一名		
現在奉公の者	百二十六名		
大阪府	廿二名	滋賀縣	十三
大阪市	八十一	山口縣	十一
京都府	二十八	香川縣	十一
京都市	十	徳島縣	七
兵庫縣	五十六	高知縣	七
和歌山	二十四	福井縣	六
岡山縣	十七	三重縣	五
奈良縣	十六	福岡縣	五
鹿兒島縣	十五	岐阜縣	四
廣島縣	十六	大分縣	三
秋田縣	十七	埼玉縣	一
靜岡縣	三	富山縣	一
石川縣	二	栃木縣	一
愛媛縣	二	東京府	一
神奈川縣	二	佐賀縣	一
長野縣	二	宮崎縣	一
島根縣	二	北海道	一
鳥取縣	二	愛知縣	二
長崎縣	二		一

△四十三年度救濟課報告（旭川）

本部より吉原遊廓廢止の請願書を送られたるを動機として本會は青年會と度々協議せし結果當地及び全國の公娼全廢の爲めに働くことに決したり。

其働の方法は會員拾三人六月二日より一ヶ月間請願書を持ちて戶每を訪問して賛成者を得たり。（又札幌、小樽、函館、釧路、岩見澤、瀧川、江部乙、美深、士別、有珠紋別、深川、美幌、ヒラトリ、美瑛、浦臼、北見紋別、室蘭、學川、野付牛、名寄、帶廣、右廿一ヶ所又は青森、弘前、盛岡、仙臺、水戶等に）請願書を配布したり而して紙數を得たるは千數百枚此內地方より得たる數は六百枚なり、尚又吉原廢娼の爲賛成紙數二百貳拾五枚矢島樣へ送れり。又每夜東京及び地方の公娼全廢の爲めに五拾八回祈禱會を今尚繼續しつゝあり其他山室氏の公娼全廢論百冊を配布したり。

收入金額　廿四圓拾一錢（此集金は會員のみならず有志者を每月廻りて集むるなり。

支出金額　五圓　慈愛館寄附　拾圓　公娼全廢運動の爲め本部へ寄附。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四十三年間度神戸支部救濟課報告

名稱及位置　神戸基督敎婦人矯風會神戸市山本通五丁目卅八

課長姓名住所　神戸市下山手通四丁目　寺島信恵

過去一ヶ間の働として別に報告に價するものなきを恥づ殊に當地に於ては未だ婦人救濟の事業に着手するに到らず

只貧民の救濟として葺合貧民窟救靈團へ前後金八圓と夏季小兒服五十人前程（帶も含む）を寄附せしも、吉原遊廓廢止運動費の中へ五圓寄附せし事など本年の報告に代んとす、來年度に於ては大に活躍せん希望也。

四十三年度基督敎婦人矯風會禁煙課報告

根本德子

喫煙の人體殊に記臆力に有害なることは某大學の調査報告に依るも明かにして入學生二百五十三名の中百卅五人は喫煙者で外百十八人は不喫煙であつて、是等生徒の學術成績を檢するに不喫煙者は不均點數九十一點であるに、喫煙者はこれより二點劣て居つた處がこれが二ヶ年後に調査して見ると不契煙者の學術優等者は六十九點なるに喫煙者は六十二點であつたとの事である、之れを見ても喫煙が如何に記臆力に關係するかを知ることが出來る喫煙は實に懼るべきものにて、卷煙草七本の中に含んで居るニコチンを人體に注射すれば死すると云ふことだ、然るに煙草の消費高一ヶ年八千四百萬圓に及び日本全國一人に對し一圓五十錢づゝ有害の爲め支拂割合にして實に驚の外なし不肖の身益々責任の重きを感ずるのみ。

働きの誠に小にして報告としてこゝに上ぐるに足らざれども。

本課の働きにて矯風會員となりし者	七名
賛助員となりし者	男二人
賛助員となりし者	男二名
禁酒會に入會者	男十名
矯風會員ならざる禁酒禁煙を約せし者	女十名
支出金額	二十圓
禁煙禁酒に資する大澤片山兩博士の演説小冊子	二百部
酒害煙毒リフレット其外二千日々の力	二十五冊

國の光百五十冊婦人新報　三十六册

右の外面会の青年に對しては必ず禁煙禁酒の功を説き又喫煙の恐るべき事を家人に常に話す爲め三歳の小兒にても酒と煙草は毒又何雜誌なりとも矯風會雜誌なりと申候

○大會瞥見

靜岡　城ノブ

第十九回基督教日本婦人矯風會大會も無事に了つた此の三伏熾くが如きの際六十の女勇士は西は若松より北は盛岡から苦熱も意とせず洛陽の地に集つた何れも主義の爲め奮闘せんづ意氣には感ぜざるを得ぬのである。

矢島會頭の八十に近き老軀を提げて此の暑さに能く會務を處理され、殊に公娼全廢期成の爲めには有ゆる凡てを捧げ、死尚ほ恐れざる元氣旺盛其眞率至誠の熱情には後輩の自分等赧顔に堪えぬのである、小崎夫人の能く會頭を補佐され遺憾なからしめし、横倉專務書記の、沈着に、守屋孃の快活に子供の御大將程あつて、中々當る可らざる意氣てあつた、ミス、デピスの溫和にして謙譲の徳ある今度中學世界に懸賞文を募り青年の德義涵養に資されし如き、何れ劣らぬ幹部のお揃ひ之れに大坂の林勇將、神戸の渡部姉の熱誠、それで日本基督教界の婦人を代表した、面々と思ふと我が會の前途も中々有望てある、否今日迄二十餘年の星霜を積んで十年一日の如く惡戰苦闘されし、先輩姉妹に感謝せざるを得ぬのである。

自分は大會に出席せし事は這回が四回目である、九州邊鄙の地に六年も居つた自分は、今年は靜岡支部を代表して、出席するの光榮を荷ふた事を喜ぶものである。

八年前に神戸大會に出席した事があつた、其時分から思ふと凡てに於て進歩したものである、議事法なども大分熟練された樣に思はれたが、役員改撰の際に、或る一二の代員は己か權利を無視し、被撰者の姓名を明記すべきに「從前の通り宜敷頼み上候」とは餘り滑稽も甚しく、議場の神聖を輕んじたものである、我等は苟も數十名の代表者として出席したる以上は、今一層

嚴肅に其責任を盡さねばならぬ、又議事法にも慣れて取捨宜しきを得て一瀉千里に處決し、時間の節約を守りたいものである。

二十年の歴史を持つて居る、我が會は三千余人の會員と聞きては何んだか心細く感ぜらるゝが、各支部に於ても來る一年間に目醒して一大活動したいもので各支部に一二の矯風狂ひがあれば敢て難事でない。

公娼制度全廢之は理想てない事實に見たいのであるが中々遼遠てある今日の青年男女をして高傑な品性を作らせ根本より清めるには容易の仕事てないが目的を遂行する迄盡さねばならぬ、切めては遊廓をして市外の一閑淋敷ところに逐ひ拂ひたきもので、第一着に此の方面に運動を開始したいのである、靜岡の双街と云へば有名なもので昔其半身を吉原へ移したとのことてある、蓬萊樓の如き高塔中空に聳え建物實に立派なものてある、曾て汽車阿倍川を通過する際或る外人傍の人に向つて、あの塔はキリスト教會堂てすかと、其人赤面答へに窮せりと、何ぞ知らん遊冶郎の妻を泣かせ母の胸を痛まし家財を亡ず魔窟とは。

或る朝原田校長より禮拜參列せよとの招きを受けた、六百餘名の健兒嚴かに天の前に跪いて居る刹那、自分は無限の感慨止め得なかつた、ア、此の講堂こそ多年尊敬する故新島先生の嘗て鞠躬盡されし、尊とき生ける遺物かと思つた二十餘年の昔同志社て師弟の間に僅かの軋轢があつた時、先生自身の左腕を鞭撻され自らを責められたと云ふ逸事も此の講壇てあるかと思ふと、一度先生の墓前に詣てたいと云ふ念が止まないのて、時を偸んで同志四人と車を若王山麓に飛はした、此の靜かなる處に先生の尊骸は永遠に平和に眠つて居らるゝのてある、我等は此處に跪て暫く默念祈禱に俗塵を離た此の時云はれぬ靈威に打たれ尠からぬ教へを受けた。

三日目の夜新しき心地よき三條の青年會館で安部、山室の兩氏の公開演說會があつた、要は何れも公娼の弊害を擧げて論じ全廢を主張されたので、滿場拍手割れるが如きてあつた、男女の聽集は堂に滿ちて居た。

本年の優賞旗は京都支部の手に落ちた會頭より嚴かな授與式があつた來年は果して何れの支部の手に!!

終りに臨み一の希望を述べんか大會は本部と成る一二の支部の專有物かの如き感がした、大會は全國五十有餘の支部によりて成立つたものとせば委員は今少し懇談の爲めに時間を與へ各支部の現狀活動の模樣等を語り長を取り短を補ひ、互に相助け興味を以て別れたいのであつた、此の三日間の重なる時間は議事と各課の報告に費したしと態々地方から出掛けて行つた自分等には物足らぬ感じがした。

京都支部姉妹方の歓待懇切至らざるなきには、衷心より感謝するものである。

大會の感想一二を記して見たので妄言多謝

○廢娼運動費中へ

一金二十圓卅錢

右廢娼運動費とて在米王府婦人矯風會の有志より御寄附ありたり。

内外通信

○彦根

本會は今より十餘年前の創立なれども、數年前より殆んど消滅の姿にて僅かに二三の會員あるのみなりしが、本月九日を以て再び會を興し十九名の會員を得るに至りたるは感謝に堪へざる所なり、而して翌十日夕彥根基督敎會堂に於て公會演説會を開きたり辯士には矢島會頭を聘し「家庭之感化」てふ演題の下に時餘にわたる熱誠なる御講演ありたり、猶安福、守屋兩師の援助せらるゝありて、實に有益なる集會なりき、參聽者は、四百名前後にして敎育家、有志家は重なる方々の樣見受けられたり。

七月廿七日午後七時武田姉宅に於て矯風會大會報告會を開く定刻前より瀧なす降雨なりしにも係らず廿名の姉妹來られ特に從來彌生會と稱する青年婦人達の一團ありしが、之れをも矯風會青年部の會となす事に決し

老若共に力を協せて惟此一事を勤めん爲めに奮進せん事を誓ひたり。

越へて廿八日午後一時矢島會頭には實に平和と喜樂とに滿てる御容姿を以て此彦根驛に着せられ出迎せる數名の兄弟姉妹と共に兼ねて會頭の御避暑の爲めにとて借り設けたりし客舍に投ぜられたり、暫時休憩の後一同感謝の祈禱を捧げ一先づ解散したり、なほ其夕碁辻姉妹京都より參られ甲斐々々しく炊事萬端の御世話せらる、加之日曜學校教授の勞までも擔任せられ彦根教會に於ては實に天來の賜にして、感謝斜ならず守屋愛姉にも歸京の途次立ち寄られ日曜學校を助けられたるが卅一日午後五時の列車にて出發せられたり。

八月廿七日午後二時彦根教會樓上に於て武田姉司會の下に、矯風會例會兼送別祈禱會を開く折しも三谷民子愛師會頭の許に來られたるを幸ひ、同師の御感話を願ひ次ぎに矢島會頭の御奬勵を乞ひたり三谷師には種々なる困難と迫害の中にも若き時より神に撰ばれ信者となりし事の如何に幸なりしかを述べられなほ會頭には「遠慮」といふ事の宜しくない實例を示されつゝ懇篤有益なる訓戒を與へられたり、それより會頭の御健康と祝福を共に心を合せて祈り茶菓の中には二三の懇談ありて最とも名殘を惜まれしも時の移りし爲め會を閉ぢたるが來會者は五十餘名なりき。

本年の夏期は不思議なる神の御攝理により會頭の此地に避暑せらるゝ事卅餘日、其間種々なる集會の聘に應じて幾多の同胞に講演の勞を厭はせられず、苟くも其風貌に接するものは敬慕措く能はざるの念に滿たされたり、なほ微弱なる會員一同に於ても活きたる模範と教訓とを與へられたるは筆紙の盡す所に非ざるなり、

九月十日午後二時同例會を開く武田姉司會にて牧師の有益なる勸めありたり來會者十二名。

役員氏名

會長武田淑子　副會長　水野たか子
書記　内田りゆう子　會計　三谷いと子

青年部屬彌生會規則

第一條　本會は彌生會と稱す。
第二條　本會は會員相互の親交を圖り聖あしの跡を辿りて淑女たるの品

性を涵養し兼ねて教會の隆盛ならむ事を期するを以て目的とし此の目的を賛する基督者及び其の求道者たる十五歳以上の未婚女子を以て組織す

第三條　本會は前記の目的を達する方法として毎月第一第二第三の日曜日に集會を開き第一の日に於いては主として聖書の研究をなし其の他の日に於いては編物造花の製作研究等をなす

但し右の他に役員相談の上に臨時集會をなす事あり

第四條　本會に幹事三名を置き諸般の事務を處理す

但し幹事は一般會員中より互選し其任期は半ケ年とす

第五條　會費は一ケ月金五錢とす

第六條　本會に入會せんとするものは會員の紹介を以て申込みて其の承諾を受くべく退會せんとするものは其の事由を具して本會に屆出づべし

第七條　本會の規則を改正又は變更せんとするものは大會或は臨時會の節會員三名以上の同意を以て其の事由を具して提出し出席會員過半の賛成を得て之を行て但し出席會員半數に充たざるときは其の效力を失ふ

○神　戸

神戸婦人ホーム設立の趣意

近年吾神戸港が國運の發展に連れて日進の隆盛を致し特に本邦海外貿易の首班として横濱と相對して東西の二大要衝をなし百貨集散の繁榮眞に刮目して見るべきものあるに至れる事は吾等市民の同慶之に過ぎざる所なり然りと雖由來都市の繁榮は之に伴ふに各種道德的危害を市民の生活に及ぼし温良の習俗を破壊し去るを常とすれば當路者及び有志者たるもの相警しめて決して輕々看過すべからざるものありて存す。

近時漸く其數を増加し來りたる青年女性にして職を會社銀行等に奉じ若くは教師官吏看護婦等として務め又た此種の事業に從事せんとして準備中なる者の從來其居所宜しきを得ずして其氣を不良に移し爲めに業を半途にして失ふのみならず甚しき失態に陷る者尠々ならざる事實を見聞するが如きは實に貴市の繁榮に伴ふて發生したる事例の一端にして誠に痛歎の極なりとす。

我婦人矯風會玆に見る所あり今回彼等の爲め其不幸の主因となれる不健全なる下宿居生活に代ゆるの目的を以て玆に神戸婦人ホーム（女子家庭寮）を創立して彼等を善良なる寮母の監督の下に置き能く家庭的團欒の樂を得つゝ日常の勤務に鞅掌することを得しめ兼て其智德をも啓發する所あらしめば庶幾くは有望なる妙齢女性の前途を誤らしめざることを得んとの微意を以て本月六月三日の總會に於て滿場一致其設立を可決し先づ會員擧つて應分の義捐をなし之が完成を期する事となしたり然れども本會の會勢に顧み其事業に思ひ到れば吾神戸市婦人ホームとして其名に背かず其設立の趣意を貫徹するに足るの設備を完ふせんには吾等の微力の遠く及ぶ所にあらざる者あるを覺え敢て江湖の同情に訴へ其助力を仰ぎ以て大成を待つの外なきに至りたれば玆に寄附申込書を添へ懇望の微志を披瀝し諸兄姉の援助を祈ること、なれり幸に有志の士女奮つて此舉に賛同せられんことを吾等一同の熱望して已まざる所なり。

明治四十四年七月

神戸婦人矯風會

事務所　神戸山本通五丁目三八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寄附金申込書

一金

右金神戸婦人ホーム設立のため寄附致候也

明治四十四年　月　日

住所

姓名

神戸山本通五丁目三八

神戸婦人矯風會事務所御中

八月五日午前九時より神戸女學校に於バザーを開き午後四時より鐵道局內女務員八十名を招待慰勞のため文藝會開催生憎當日は當地暴風雨の翌日なりしため人出少なく、純益金僅に五拾圓內外にて候然し今後各自應分の盡力致す決心に御座候。

○靜岡

七月京都に於て開かれし大會へ當支部より城ノブ子姉を代議員として出席されたりしを以て、七月の例會を大會報告會として廿二日午後一時より鷹匠町山家姉の宅にて開けり、出席會員十五名定刻になるや石井姉の司會綾部姉の祈禱に次ぎて城姉は殆んど二時間に渉り大會の狀況を內容外部感想に別ち會員をして、大に奬勵鼓舞され詳細に破告其使命を果されたり、一同滿足山家姉の厚き歡待を受け會の發展活動をなさん爲め種々懇談する所あり、九月を期し各課を置き、各自其方面に働かんとを約し四時半割愛し、城姉の感謝の祈禱を以て散會したり、本年大會に代員を出せし事は當支部に取り將來の運動上利益尠からざりしを喜ぶものなり。

靜岡遊廓八月三日調

貸座敷十三軒娼妓百七十名前借金五萬千百九十五圓一人平均三百〇一圓年齢十九才より三十一才此內拔も永く奴隷生活なし居るもの九年目

○若松

八月五日若松婦人矯風會長原かめ子氏第十九回大會に出席せられし報告あり會する者は少數なりしも大に感ずる處あり、名々感想は異なれ共感ぜし處は矢島會頭はじめ林姉其他矯風事業の爲めには何もおしまれず死

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すべくは死ぬべし、生命は金も衣服も食もすべてあるとあらゆる物をさゝげて矯風事業の爲につくされし事妹も尚會の爲めには、生涯何國に行くとも勞かん事をなほ深く決す。會頭は此事業をなさんが爲めに居そふものとなり我等も弱くたらずといへ共神のとも矯風會員としてたゞ一人なり此若松町のまよへる多くの人々の爲めに神よりの御力を受けなすべき事の多くある事を感ず會員少なく金はなくとも我等の後には凡てに勝れる萬能者あり何んぞおそるゝ事あらんやたゞ我等に神の求め從ふ處は我等會員名々が神の靈に滿され矯風の精神に焔ゆる此一つなる事を信ず。これを我等名々の心の中に受けなば勇氣はおのづから出今迄の我等にあらず神の使なればいかなる事をもおそるゝ事なし。愛する姉妹方よ若松にある會員名々が今一層覺醒して何物がなすべき事をさとりそれなさんが爲めには我心を一つにして勞かしめ給ふよういのり下さらば幸ひに存じます。

○堺

去る六日午後八時當市緞通事務所樓上に於て風俗課の公開演説會を開く當日の辯士は岡村平兵衛君及び大阪川口基督教會牧師名出保太郎君にして演題は公娼全廢論(岡村君)予が理想の日本(名出君)なり前日より其演題を掲示するや遊廓に近き處とて其演題を破り去り形勢何となく不穩の兆あり開會の時迫り來るや聽衆詰め懸中には遊廓よりも八九名の人を見受たり岡村君は滔々各方面より公娼の有害なるを論じ名出君は現代の日本は公徳に於ても家庭に於ても遙かに歐米各國に劣るを論じ最後に公娼設置は國家の上に於て一大汚點なりと論じ拍手喝采聲裡に壇を下れり辯士の熱心なる所論は聽衆に多大の感動を與へたるやに見受けたり名出君の祈禱に次いで一同頌榮の歌を歌ひて閉會せしは午後十時半頃なりき當日の聽衆百有餘名。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

青年部欄

聖經女學校

四月十三日副會長古田姉の司會のもとに聖經女學校講堂に於て第七回例會を開く。當日東京少年禁酒軍部長守屋女史の有益なる一場の講話の後左の如く役員改撰す。

會長　ミスセスバンペテン
副會長　古田とみ
書記　小山田すめ
會計　飯泉きよ

各部課長

花の課　田島ゆう
日曜學校課　渡邊きよの
安息日課　北島まさ
傳道課　篠川すじ

新入者十數名
當花の課は直に十一種の花の種を買ひ窓前の明地にまく、美しき芽はひ日ならず病者を慰さんと一同希望に滿つ。

○東洋英和女學校

四月役員改選の結果左の如し

會長　手塚てる代
第一副會長　高木榮子
第二副會長　平岩すゑ子
會計　今村かつぢ
同助手　岩崎春江
書記　安中花子

六月七日午後一時半より會員數名花束をたづさへて、赤坂病院及赤十字社病院を訪問す赤十字社病院に於ての一時間半は施療室慰問に過しぬ病苦の時に當りて最も寂寥を極むる貧者の弱りし眼にも喜びの色は浮べり平和と望の美しき花彼等の胸に咲き出でん日の喜びなど思ひつゝ五時歸校す當日慰問せし病者百人配布せし花束百餘。

因に言ふ此日の訪問は花の紀念日六月九日になすべきものなりしを會員の都合に依り繰上げしなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

松村介石先生著

婦人の心得

古い女の道は、もう顧みる人はありません。然し新しい女の道はまだ本當に信頼すべきものが興りませぬ。松村先生は、基督教の立場より儒教、佛教等を研究せられ、此の三者の長所のみを採つて、一教派を立てられ、日本教會を創められました。此の方の婦人の心得は、古きにつかず、新奇に流れず、洵に現代の女子の規矩とすべき、常識の道で御座います。

定價金三十五錢　郵税四錢

發兌

東京京橋尾張町
振替東京五五三

警醒社書店○支店

東京本郷春木町　警醒社支店
神戸元町鯉川筋　福音舍書店

田村直臣先生著

子供の權利

どの御宅でも、子供の數は大人より多いので、子供は人類の大多數者であります。此の子供を取扱ふ爲方によつては、大に國民發展上に影響があります。今は親が子供に孝養を迫つたり、大人の都合で子供を壓服す可き時代は過ぎました。時勢は移ります、子供は値打を認められ、其權利は許容されなければなりませぬ。其權利とは何ですか…………

定價金五十錢　郵税六錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA